

校長室だより



第75号

令和4年1月13日
校長 齋藤 瑞穂

とらとし 何事にも
寅年を 何事にも

「トライ」する年に！

あたらしい年になりました。冬休みは、きっとお家の方と楽しく過ごせたことでしょう。楽しいあまりつい夜ふかしが続いて、生活のリズムをくずしている人はいませんか？「早寝早起き朝ごはん」を心がけ、3学期も元気に学校生活を送りましょう。

さて、今年は寅年。何事にもトライする年にしてほしいと思います。トライとは、「試してみる」という意味です。今までやったことのないことをやってみる、やってみたかっただけきっかけがなくてやれなかったことをやるのもよいですが、できないかもしれないとか、できないだろうと思って尻込みしていたことを思いきってやってみるのはどうでしょう。トラはアジア最強の肉食獣で、一日に千里を走り、またもどってくるほど、優れた行動力をもっているといわれています。今年はそのトラの勢いを借りて、何事にもトライする、新しいこともまずはとにかくやってみる、という気持ちでいきましょう。

どんな困難が立ちはだかっても、前へ進もうとする強い意志があれば、その壁は必ず乗り越えられます。人間には無限の可能性があります。みなさんには、トライする気持ちをいつも忘れないでほしい。明るい未来を思い描いて、それに向かって一歩一歩力強く前進してほしいと、心から願っていますし、みなさんがそうする力を身に付けられるようにする場所がここ、杉七小なのです。

令和4年、トラ年をトライ年にしていきましょう！！



クイズ..ではないけれど

クイズになる植物を探して校庭を歩いていて、あざやかな赤い葉っぱが目につきました。

この木は「ナンテン」。冬は花によるいろどりは少ないけれど、このように目を楽しませてくれる葉にもぜひ注目してみてください。



投句箱より

ゆきふ とうきょう まち しろ そ
雪降って 東京の街 白く染まる

6年 やまだ あつし
山田 篤 さん



としまいに しょうかい はいく
年最初に紹介する俳句は、6年生の作品です。季語と季節はわかりますね。そう、

「雪」が季語で、季節はもちろん「冬」です。先週6日の木曜日、午前中から少しずつ降り出した雪は、夕方にかけて激しくなり、校庭は一面真っ白に。翌朝、杉七学童クラブの子供たちは、それは楽しそうに雪遊びをしていました。校庭に大小たくさん雪だるまができていました。

いつもは色や光があふれ、にぎやかで楽しく、一方でごちゃごちゃしてうるさいような東京の街を、雪が白一色に変えていく…山田さんは、その様子を、「白くなる」ではなく「白く染まる」と表現しました。染まるには時間がかかります。徐々にゆっくりと白くなっていく様子が伝わりますね。ほんのわずかな言葉のちがいで、受ける印象はずいぶん変わります。言葉選びに山田さんの鋭い感覚を感じました。

保護者の皆様

新しい年を迎え、子供たちはそれぞれ、自分なりの抱負をもっているようです。具体的などころでは、「ランニング記録会で前回の記録を超えたい」という子もいますし、来年度を見据えて「最高学年として杉七小をリードできるようにしたい」という頼もしいめあてを掲げている子もいます。そうした子供たちの前向きな意欲を大切に支援していきます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。